

平成30年度 高3生対象 進学講演会

【日 時】平成30年5月24日（木） 7限 15:20~16:10

【場 所】本校体育館

【講 師】駿台予備学校 西尾 年史 氏

【演 題】「今こそ、第一志望はゆずれない」

【概 要】長年の受験指導の経験と豊富なデータをもとに近年の大学入試の傾向と、なぜ今「第一志望はゆずれない」なのかお話ししていただきました。

1. 大学入試の現状



センター試験の現状を見てみると、志願者数は3年連続で緩やかに増加してはいるが、現役生の志願率が増加していることを踏まえると、今年も「現役生中心の入試」であると言える。

また国公立大学の受験者は7年連続で減少し、私立大学の受験者は増加傾向にある。センター試験で思うように点数が取れないと国公立を諦めてしまう生徒も多いようである。それは逆に国公立大学志望者にとってはチャンスである。

学部学科系統別で志願状況を見てみると、近年では経済や社会系統など文系の人気が高まる一方で、理系の、特に医学部では4年連続で志願者が減少するなど、理系人気の沈静化が表れており、文系・理系ともに受験しやすい状況にある。

2. 受験生の心構え



第一志望に合格していった生徒は最後まで諦めずに勉強し続けた生徒であり、そのためには「絶対ここに行く」と思える大学を見つけることが大切である。

また今後90歳近くまで生きることを考えると、安易に志望校を下げるのではなく、自分が満足いくまで勉強するのがよいのではないかと。

現役生にとって今年は「チャンスの年」「チャレンジの年」であると言える。最後まで「第一志望をゆずらず」頑張してほしい。